



各 位

上場会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社
代表者 代表取締役社長 若山 健彦
(コード番号 6862)
問合せ先責任者 管理部長 門井 豊
(TEL 045-591-5611)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	650	△10	△20	△22	△1.23
今回修正予想(B)	567	△30	△30	△36	△2.02
増減額(B-A)	△83	△20	△10	△14	
増減率(%)	△12.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	726	8	2	△8	△0.49

修正の理由

平成26年3月期第2四半期累計期間の業績といたしまして、以下のとおりの見込みとなりました。

デバイス関連事業につきましては、プログラマ及び変換アダプタの販売は順調に推移したものの、電子機器関連企業による設備投資の手控えなどの影響より、オートハンドラの販売は大口の案件が、下期へずれ込みましたことなどにより、当初予定をやや下回る状況となりました。また、タッチパネル関連事業につきましては、金融端末(ATM)やアミューズメント向けの中型タッチパネルほか、大手電機メーカーのOEM製品として大型タッチパネルの販売が堅調に進んだことから、当初予定を上回る状況で推移しました。しかしながら、当初、その他事業として計画しておりましたLED照明の販売について、立ち上げが進まなかったことから、予定の売上を計上することができませんでした。

以上の結果、売上高につきましては567百万円(当初予想との差異△83百万円)となる見込みであります。また、営業利益、経常利益につきましても売上高の減少により、それぞれ営業利益△30百万円(当初予想との差異△20百万円)、経常利益△30百万円(当初予想との差異△10百万円)と前回予想を下回る見込みです。四半期純利益につきましても、役員退職功労金を計上したことなどにより△36百万円(当初予想との差異△14百万円)となる見込みであります。

通期の業績見通しといたしましては、デバイス関連事業におきまして大口商談件数や海外連絡事務所稼働による案件の増加が見込まれること、及びタッチパネル関連事業では国内、海外ともに今後も順調に推移することが見込まれることなどから、通期業績見込みにつきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも変更はありません。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上